

総合効率化計画(モーダルシフト)を認定しました

北海道運輸局では、栗林商船株式会社、イオン北海道株式会社、イオングローバルSCM株式会社、センコー株式会社、北海道センコー株式会社から申請のあった船舶輸送へのモーダルシフトに関する総合効率計画について、農林水産省及び北海道経済産業局と共同で認定しました。

■ 計画概要

北広島市の配送センターから納品先である釧路市までのトラック輸送を、苫小牧港～釧路港航路を利用した輸送を取り入れ、物流の効率化を図る。

【 実施前 】

北広島にある道央圏配送センターから釧路市内6店舗に10トントラックによる陸上輸送。

【 実施後 】

北広島にある道央圏配送センターから苫小牧港までトレーラーにて輸送し、苫小牧港から釧路港までをRORO船で運搬後、釧路港から釧路集積センターへトレーラーで輸送。釧路集積センターで10トントラックに積み替え、釧路市内6店舗に輸送。

■ 計画による効果

【 ドライバー運転時間 】 年間 82.9%削減

【 CO2 排出量 】 年間 55.0%削減

■ 実施主体

- ・栗林商船株式会社
- ・イオン北海道株式会社
- ・イオングローバルSCM株式会社、
- ・センコー株式会社
- ・北海道センコー株式会社

日用雑貨等の船舶モーダルシフト

令和6年9月2日認定

実施主体

栗林商船(株)、イオン北海道(株)
イオングローバルSCM(株)
センコー(株)、北海道センコー(株)

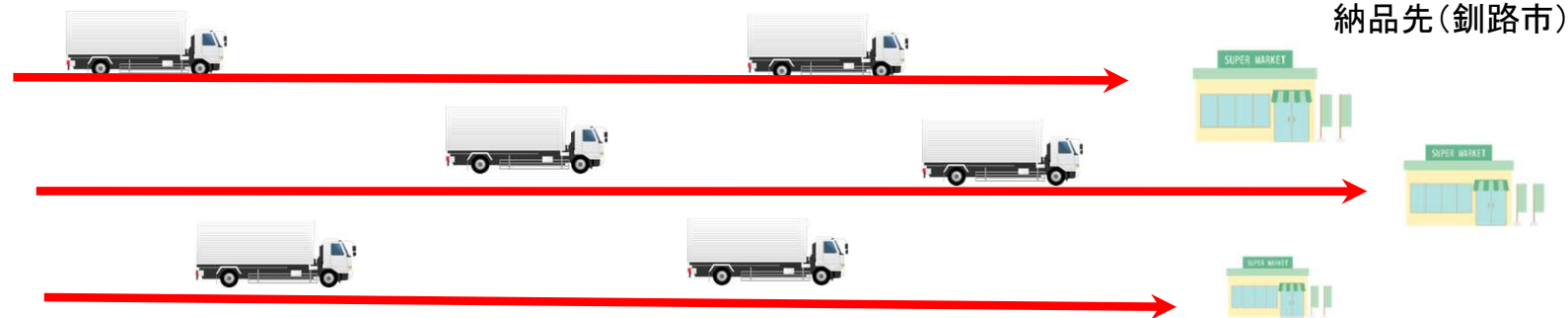
事業内容

北広島市の配送センターから納品先である釧路市までのトラック輸送を、
苫小牧港～釧路港航路を利用した輸送を取り入れ、物流の効率化を図る。

実施前



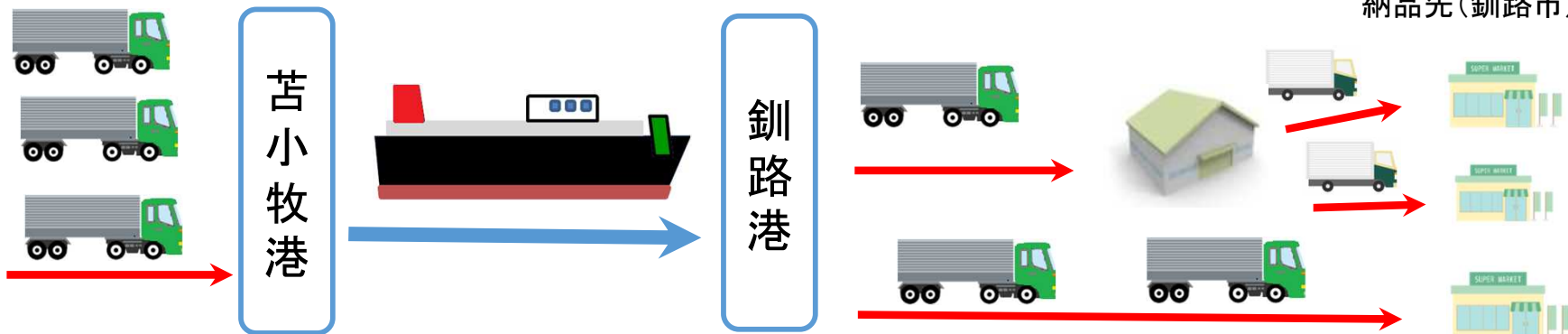
配送センター
(北広島市)



実施後



配送センター
(北広島市)



特徴

- 北海道内における船舶モーダルシフト
- ドライバー運転時間の省力化

効果

- CO2排出量: 年間約55%削減
- ドライバー運転時間: 年間約82.9%削減